

社会人有望選手リスト<145名>

●リスト作成

【野球太郎】有望選手リスト作成委員会

※項目は左より、チーム名、ポジション、名前、出身校、年齢、身長、体重、投打、評価 (P183参照)、寸評の順になっています。

北海道地区											
室蘭シーホークス	投手	今崎淳次郎	関東学院大	25	184	83	左左	○	中学の怪童が社会人3年目。早熟スライクと左輪大輪蹴りか。角度絶妙、実戦力が勝負の年		
東北地区											
JR東日本東北	投手	西村 祐太	桐蔭横浜大	28	182	79	左左	◎	相手の頭には球種で簡単にストライクを取り、同じ球種でも強弱をつけて使い分ける		
	中堅手	田代 大智	大曲工大	21	175	80	右右	△	運動能力の高さは1球打者向き。ちょっと外振りするスイング軌道が変われば大化けも		
きやが銀行	投手	小島 康明	東京農業大	25	178	80	右右	△	股間からスバッと足を上げ、良質な138キロと落ちるチェンジアップを外内に配する		
		宮武 大地	国士舘大	24	188	80	右右	△	未完の本格流。体ができてからは2年後でも? 腕のしなやかさを失わずにスケールアップを		
	捕手	安成祐太郎	東日本国際大	24	168	75	右右	◎	本物の恋愛男。エース小島康明と息を合わせて、メリハリをつけながら好投を引き出す		
七十七銀行	右翼手	野村 彰宏	八戸学院大	23	180	80	右右	△	三拍子揃って、数字以上に大きく見える。俊足を生かすためにも、打席での粘りをもっと		
日本製紙石巻	投手	齊藤 侑馬	武蔵大	29	179	79	左左	△	昨日今日の作られた変則左腕じゃない。しっかりと乗り込んで、184.4cmを逆方向もつ		
北信越地区											
フェデックス	投手	久保田啓介	杏林大	23	187	85	右右	△	大胆なテークバックに、サイドなのにフォークが決め球という個性派。唯一無二の存在		
北関東地区											
SUBARU	投手	角田 皆斗	専修大	24	179	82	右右	△	チーム事情で先発に回り、チェンジアップで寝息も覚めたが、フォークで抑え役が適任		
		高橋 史俊	立正大	24	182	82	右右	△	投手らしい長い手足。気迫に満ちた真つぎ勝負がチームの一転、外のカーブで見逃し三振も		
	三塁手	野平 大樹	樹徳大	21	182	82	右左	△	体が大きくなり、硬さも目立ってきたが、強打でガツンと飛ばせるのが、タイミングの振も		
新日鐵住金鹿島	投手	玉置 隆	国学院和山	31	180	82	右右	◎	落着きの大きいチェンジアップを武器に粘投。被安打10の完封勝利でチームを全国へ導くも		
日立製作所	投手	山本 淳	国際武道大	23	188	84	右右	◎	外国人のようなエンジェンの大きさが30代半ばに達している制御可能に。エースの良くと		
	鈴木 康平	国際武道大	23	186	78	右右	◎	元で肩から投げ下ろす150キロは空振りを取れる。二塁牽制投げ以外の動きの精度も			
	二塁手	野村 彰宏	東海大	24	177	78	右左	◎	兄・広畑(広)とは好対照の「きれいな野球」が持ち味だが、プレーに強さが出てきた		
	右翼手	野野 剛士	明治大	24	171	80	右左	△	併殺ににくい二塁打メーカーを4番に狭むことで、日立自慢の重量打線に厚みが増す		
南関東地区											
Honda	投手	永野 将司	九州国際大	24	181	82	左左	◎	数字が出る左は見栄えがいい。絶対的な変化球をひとつと、年間通して働ける頑丈さも		
		寺良 諒	東京農業大	23	180	82	右左	△	力まずに低めに集める丁寧な投球。キレのない140キロ前後とチェンジアップで動作合		
	捕手	辻野 雄大	白鷲大	24	179	80	右右	△	外野もできる俊足強打ははずが、マスクを被ると特徴がなくなる。捕手の丁寧さは○		
	中堅手	鈴木 康平	国学院大	23	175	75	右右	△	太鋭のシルト球に敵陣の隙がはつきり。初回に狙って真つぎでチェンジアップを作る投球難		
JFE東日本	捕手	川端 晃希	同志社大	24	177	80	右左	△	オープン戦での4番捕手の起用は期待の表れ。打撃が若返りで今年も今年の要になる		
	二塁手	生多 良介	東北福祉大	28	169	69	右左	△	地味に成長を続け、敵陣の敵目どれたる存在に。三球もき取り、ここの一番に逆方向へ		
	中堅手	豊原 北上	武北大	24	175	73	右左	◎	息を吹いてもなスピード感。捕手としてはそこそこいいが、外野なら守るに快足がきまる		
ねんじやが野球	投手	渡辺 俊介	国学院大	41	178	72	右右	◎	場の空気を支配する老練スライダー。右打者も左打者も、100キロ前後で泳がせてしまっ		
		新ヶ丘一駿	国学院大	24	174	72	右左	△	細い体ながらもついでに、140キロ前後でもキレのある球。速度も相組は左打者に脅威		
		川端 雄太	東海大望洋	20	177	77	右左	△	見るからに「いい投手」でも、今は「いい球を投げるだけ」の存在。根負けしない強さを		
		山田 拓郎	北照	20	175	78	右左	△	トルネード気味に140キロ中盤を連発。おなじ味だものの今の雰囲気を研究している		
	捕手	土門 愛大	北照	21	178	83	右右	△	シートノックでバタバタ。振も鋭いけど、芯を食えば膝々スタンバイ。長距離離れの卵		
日本通運	三塁手	大木 昇吾	武北大	25	173	73	右左	△	初球から迷わず振れるようになった。小さな変化で振らせて取るためにもしっかりと		
	右翼手	北川 利真	創価大	24	178	85	右右	◎	右方向への打球の伸びはプロでも稀有な存在。好球必打で秋以降の徹底ローを跳ね返さ		
東京地区											
JR東日本	投手	板東 湧信	埼玉	22	181	76	右右	△	コンパクトなテークバックから正統流のカーブ。球速以上のキレはあるが、力感をさらに		
		田嶋 大樹	佐野日大	21	182	75	左左	△	コンマ何秒かの球持ちで、真つぎ狙いのベテランをクロスファイアードでどん詰まりに		
	一塁手	丸手 達也	早稲田大	24	187	103	左左	△	難しい球を打つタイプではない。でも長距離離れがない。好投必打で車を残す中堅打者		
	三塁手	辻辺 和哉	専修大	23	176	85	右右	△	4番三塁手を期待されたが、1年目は不発に。強打者のオーラを失わずに成長してくたら		
	遊撃手	岡本 浩	静岡商大	21	179	87	右右	△	元投手だけに肩は文句なし。洗練されたショートが多い社会人なら、泥臭さも武器になる		
	左翼手	松本 晃	福井商科大	32	180	85	右右	◎	ストロートに滅法強い長距離砲。甘い球は逃さずフルスイング。一振りして力を呼び込む		
NTT東日本	投手	西村 天裕	横浜国立大	24	176	92	右右	△	外国人のような馬力があり、クローザーに。スライダー、フォークより一層のキレ味を		
		渡邊 啓太	神奈川工科大	24	177	70	右右	△	肩威の柔軟性が球持ちのよさの源。右手で背中をかくようなテークバックでも再現性あり		
	遊撃手	黒川 周平	明治大	25	169	69	右左	△	見違えるほどの振りが強くなる。あとは体の強さを二遊間からの送球に反映させるだけ		
	左翼手	日馬 隆也	武北大	31	165	84	右左	△	9番目黒は打線がなごる真味。球威を利用して逆方向へ弾き返す。即座で好成績に		
驚宮製作所	投手	齋藤 英輔	青山学院大	26	180	81	右右	△	大学時代の球威が戻りつつある。突然の不用意な四球もつけない。三者凡退で圧勝		
		野口 亮太	仙台大	25	164	65	左左	△	インステッパから小気味よい投球。違いは遠くからストボールを投げられるのは才能		
セガサー	捕手	喜多 亮太	敦賀気比	21	176	70	右右	△	先行投資に今年こそ結果で応たい。ソツがない守れるが、自分の色に勝率力足りない		
	遊撃手	根岸真太郎	日本大	24	180	78	右右	△	入社即4番遊撃手の大抜擢も尻すぼみに。体の強さは感じられるが、攻守に硬さが見る		
	右翼手	本宮 諒	筑波大	25	176	88	右左	△	唯一にして最大の敵が負い。自分自身を縛りつけなければ、シャープな打は社会人屈指		
東京ガス	投手	室谷 陽介	筑波大	26	172	75	右左	△	1歳にしてもう大人の球威を連年で成長。小柄でもたもたの角度抜群で、徹底的に低めに集		
		石田 光宏	関西大	23	181	85	右右	◎	微妙に動く140キロ中盤に、動きながら落ちるツーシームで極論満点の好投球。守りも○		
	捕手	山内 佑規	明治大	23	172	79	右右	◎	思いやり的好捕手。切り売りにできる武器はなくても、若い投手陣の力引き出す術を熟知		
	一塁手	黒田 雅和	関西大	33	175	82	右右	◎	2死二塁、2死三塁、打つしかない場面で確実な一撃。甘い二塁球は狙いつけても捕越えに		
	遊撃手	山田 悠輔	PL大	22	185	85	右右	◎	試合の流れを読める若者。4番遊撃手の重任を年間通してまとうことができ、即戦力に		
	中堅手	白田 智哉	東海大	24	178	78	右右	◎	代走、守備固めでもセンスが光る。社会人でも東海大相撲時代の最高、高遠カットはスリッポンのような威力		
明治安田生命	投手	三宮 舜	慶應義塾大	24	173	73	左左	△	キレと度胸に多形で多彩。試合全体で見ているのだから、ストロートの遠投だけは禁物		
	左翼手	加藤 幸紀	東海大	32	178	86	右右	△	独自のメカニズムで打線連発。体から離れたヘッドを居るから二遊間に軌道進入は禁物		
	右翼手	泉澤 涼太	中央大	24	184	82	右右	△	高い身体能力に読みが備わりつつある。根拠を持った一振りが増えれば、2年目の飛躍も		
西関東地区											
JX-ENEOS	投手	柏原 史俊	同志社大	24	175	79	右右	△	高めに速くて数字が出るのは稀光学園時代から。低めに生きた球を投げられるのがカギ		
		齋藤 陽一	立正大	23	176	81	右右	△	全体的な底上げで、力で押されればエースに成長。高遠カットはスリッポンのような威力		
		鈴木 健夫	東洋建設総合	20	176	71	左左	△	両腕をクロスさせる割れず打者が高卒1年目から大活躍。前線を送る確実な送りバントが		
	捕手	猪又 弘弘	青山学院大	24	177	83	右右	◎	肩の強さは目立つ。打球が来た時の過剰なリアクションは注意。さりげなく受け止めて		
	二塁手	若林 隼	法政大	24	180	81	右右	△	見るからにセンスよ過ぎて能力は高い。ここから先に技術には意識するべきほどの圧倒的な数字を		
	中堅手	百谷 雅也	松商学園大	20	169	69	右左	△	代走で出てきたら要注目。初速の課題は、昨季限りでコーチ専任になった前田将希の再来		
	右翼手	山瀬 成也	明治大	24	183	93	右右	△	器用なタイプではないが、1つひとつ課題を消し解凍年。一線級からの一発がある		
東京芝	投手	加嶋 宏毅	慶應義塾大	23	178	76	左左	△	変化球でカウントを整え、強気の直球勝負。技巧巧のよさは本職志向の四球ももめ		
		善 武士	多摩大	21	178	74	右右	△	マウンド上で氣に落ちても、テンがよく投げられる。下半身の柔らかさからスピードも		
	遊撃手	堀米 潤平	白鷲大	24	163	65	右右	△	遊撃守備だけでなく社会人の名人気配に匹敵。とにかくクラブ捌きが柔らかく、コロコロ仲良し		
三菱日産ファイナンス	投手	奥村政隆	中津商大	25	178	80	右右	△	立ち上がりから力強いエースに絡む。エンジェンがきれいな150キロ超でわざとこぼれるが		
		三小田真一	文理大	25	172	78	左左	△	走者をしてよくイクツを駆使。フォークを織り交ぜたタイムングを外投で相手を誘		
		大野 亨輔	専修大	24	177	75	右右	◎	サイズとエンジェンが足りないので、勝つために必要なスキルをフル活用した本物の投手		
	二塁手	久保 皓史	富士大	24	181	82	右左	△	強打の二塁手だから商品価値がある選手。勝負強さを伸ばし、打線にアドバンテージを		

※一部ドラフト対象ではない選手も含まれていますが、「野球太郎」が「ぜひ、見てほしい」と思い掲載しています。